

東遊園地の座具 製作コンペティション募集要項

主催： 一般社団法人 リバブルシティイニシアティブ

1. 背景

これまでの東遊園地について

居留地の東側にある河川敷を、外国人専用のプレイグラウンドとしたところから歴史が始まった東遊園地。近代神戸の歴史の中心に常に位置してきた公園ですが、近年は土のグラウンドが広がり、ルミナリエや神戸まつり等の大規模なイベント開催時以外は訪れる人も少なく、利用度は高くありませんでした。

この公園の魅力向上をめざして、2015 年から市民有志による一連の社会実験「アーバンピクニック」がはじまりました。当初は実行委員会形式で発足しましたが、2016 年からは一般社団法人リバブルシティイニシアティブとして法人化し、現在に至るまで継続的に社会実験を繰り返しながら、市民参加型の公園運営の模索を続けてきました。

並行して神戸市役所も園地の改修方針の検討を本格化しましたが、にぎわい拠点施設の運営事業者、及び園地の設計者の選考も進み、現在では 2022 年の秋をめざして園地全体のリニューアル工事が予定されています。

これからの東遊園地について

2015 年にスタートして以来、一連の社会実験「アーバンピクニック」では、市民が公園を「楽しむ側」としてだけではなく、企画・運営や設営などを通して、市民が「育てる側」としても参画することによって、市民の愛着を東遊園地に集めることを大切にしてきました。

このため、市民からの本の寄贈によって蔵書を收拾したアウトドアライブラリーの取り組みや、市民主導のプログラム企画・運営、芝生を補植するプログラムなどを展開してきましたが、2022 年秋のリニューアル後も同様に、市民が公園を「育てる側」に回る余地を常に残しつつ、都心と自然を同時に楽しむ神戸らしいライフスタイルが発信されるアウトドアリビングとして、市民の愛着を集め続けることをめざしています。

主催団体について

東遊園地における社会実験「アーバンピクニック」は、初年度の 2015 年に実行委員会形式ではじまりました。この実行委員会を発展するかたちで、2016 年に一般社団法人リバブルシティイニシアティブが誕生し、現在にいたるまで一連の社会実験を開催してきました。2019 年のコンペを経て、2022 年以降に Park-PFI のスキームを活用した東遊園地の拠点施設の運営事業者として、同一般社団法人を含むグループが選定されています。

また同一般社団法人は、住みやすい街づくりにつながるフォーラム等を継続開催してきたほか、2020 年 12 月より JR 三ノ宮駅に隣接する暫定利用地の活用プロジェクト「ストリートテابل」を主催しています。

2. コンペの主旨

東遊園地では 2015 年以來、社会実験の開催中は毎日芝生の上に、市内の小学校から譲り受けてきたイスを展開し、夕方になると片づけるということを繰り返してきました。

そのイスをめがけて芝生に一步踏み出す様子、腰掛ける人びとの様子、テーブルとして使っている様子など、多種多様な使い方やシーンを見るなかで、芝生を含めた園地の中で利用するために最適な座具デザインが求められていると考えました。

本コンペは、公園を楽しむための座具デザインを選び、東遊園地から発信するために開催します。最優秀に選ばれた座具デザインをもとにして、2022 年秋の東遊園地のリニューアルオープンに合わせて実際に座具を制作し、平日は 30 脚程度、休日は 100 脚程度、イベント時は 200 脚程度を展開することを想定しています。

※座具の基本的な利用シチュエーション

- ・ 冬期をのぞくと強い日射にさらされる、屋外環境で使用します。
- ・ 公園内の芝生面や舗装場所など多様な路面状態の上で利用します。
- ・ 夜間や雨の日は、倉庫もしくはシェイドの下に片づけます。

3. デザイン条件

- ・ 公園の滞在利用の可能性を広げる、新しいデザインであること。
- ・ 毎日の片づけ手間が生じます。容易に持ち運びでき、倉庫に収納できること。
- ・ 耐候性と製作コストを考慮すること。
- ・ これまでの東遊園地における活動や資料を参照してデザインを行うこと。

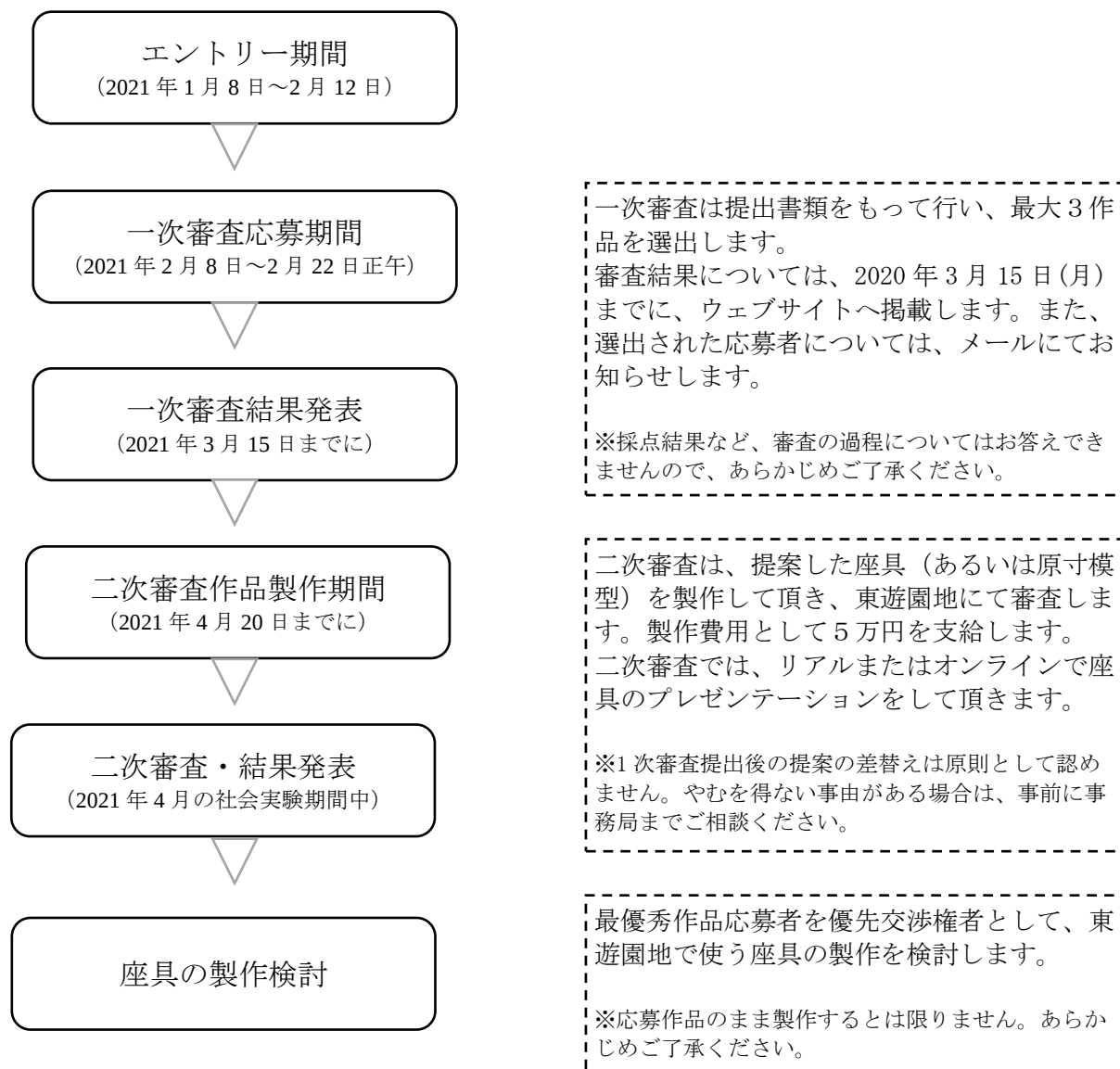
4. 応募資格について

応募資格は特にありません。

但し、二次審査のための座具、あるいは原寸模型の製作と運搬が可能であること。

(※未成年が応募する場合、保護者による承諾書を要します。)

5. 全体のスケジュールと審査方法について



6. 応募方法と期間について

応募に際しては、事前にメールにてエントリーを行って下さい。

【エントリー方法】

東遊園地の座具 製作コンペティション事務局へ下記の内容をメールして下さい。

件名を「東遊園地の座具 製作コンペ 応募登録」とし、下記6項目を明記してください。

①氏名 ②所属 ③年齢 ④住所 ⑤電話番号 ⑥Eメールアドレス

グループにて登録される場合は全員分を記入し、代表者1名が誰か分かるようにして下さい。

提出先: up@riverworks.jp

【エントリー期間】

2021 年 1 月 8 日(金)～2021 年 2 月 12 日(金)

作品を提出できるのは、この期間にエントリーを済ませた方に限ります。

エントリーを受け付け次第、事務局より登録番号をメールにて通知します。

エントリーのメール送付後一週間経っても連絡のない場合は、事務局にお電話にてお問い合わせください。(TEL : 078-381-6450)

【1 次審査応募期間】

2021 年 2 月 8 日(月)～2021 年 2 月 22 日 (月)12:00 まで

1 次審査では作品の PDF データを設計コンペ事務局へメール送信してください。

提出先: up@riverworks.jp

【メール送信の際の注意事項】

ファイルサイズは合計で 25MB 以内としてください。

メールの件名・提出ファイル名は「登録番号+氏名(代表者)」としてください。

(例:20-005 田中太郎)

7. 提出物(プレゼンテーションシート)について

A3 サイズ 1 枚以内。(※横使いとすること)

- ・登録番号は 22pt (W60mmxH6mm)程度のサイズに合わせてください。
- ・作品タイトル
- ・提案内容(設計趣旨/三面図/素材/使用イメージ/その他提案趣旨を伝えるもの)を含むものとします。
- ・製作台数を 200 台と仮定し、座具の製作コストを下げる方法についても提案してください。
- ・プレゼンテーションシートには登録番号を記載し、氏名や所属は一切記載しないで下さい。

8. 審査員について

審査員は以下の通りです。

【審査員】 (50 音順・敬称略)

津川恵理氏 建築家 ALTEMY 代表・東京藝術大学 教育研究助手

槻橋修氏 建築家 ティーハウス建築設計事務所 主宰・神戸大学准教授

広脇淳氏 公園管理者 神戸市建設局公園部担当局長

福岡孝則氏	ランドスケープアーキテクト Fd Landscape 主宰・東京農業大学准教授
藤森泰司氏	家具デザイナー 株式会社藤森泰司アトリエ 代表
村上豪英	プレイスメイキング実践者 アーバンピクニック事務局長

9. 審査基準について

「3. デザイン条件」に準じます。

10. 作品賞について

作品賞の内容は以下の通りとし、対象作品は記録集に掲載します。

グランプリ	1点 賞金 20 万円（コンペ終了後、実際の座具製作について協議します。）
優秀賞	2点 賞金 5 万円
佳作	10 点前後

11. 諸権利、著作権について

1. 応募作品の著作権は応募者に帰属します。入賞作品の著作権は主催者が保有します。
2. 応募作品は未発表作品とし、他の設計競技との二重応募は審査対象から外します。
3. 入賞後に著作権の侵害や二重応募が判明した場合、入賞を取り消すことがあります。
4. 当日写真撮影をさせていただきます。
5. 入賞作品と上述の写真は、記録集のほかウェブサイトや SNS 等に掲載させていただきます。

12. 主催団体等と問合せ先について

主催 : 一般社団法人リバブルシティイニシアティブ

協力 : 神戸市

問合せ先 : 事務局 有限会社リバーワークス 担当 上戸（かみと）

住 所 : 〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町 4-2-27-101

電話番号 : 078-381-6450

E-mail : up@riverworks.jp

以上